

- 1) Murakami T, Saitoh I, Inada E, Kurosawa M, Iwase Y, Noguchi H, Terao Y, Yamasaki Y, Hayasaki H, Sato M: STO feeder cells are useful for propagation of primarily cultured human deciduous dental pulp cells by eliminating contaminating bacteria and promoting cellular outgrowth. デンツブライ賞, 日本小児歯科学会, 2014年5月16日.
- 2) 三富智恵, 河野芳朗, 河野承子, 松山順子, 坂井幸子, 佐野富子: アルキル化抗腫瘍薬によるラット歯根形成障害 - 根尖部における経日的変化 -. 第52回日本小児歯科学会大会優秀発表賞, 日本小児歯科学会, 2014年5月16-17日.
- 3) 村上大輔, 稲田絵美, 齊藤一誠, 岩崎智恵, 武元嘉彦, 山崎要一: 小児の顎顔面軟組織形態における3次元成長変化の経年評価. 第52回日本小児歯科学会大会平成26年度町田賞, 日本小児歯科学会, 2014年5月16-17日.
- 4) Kawasaki M, Porntaveetus T, Kawasaki K, Oommen S, Otsuka-Tanaka Y, Hishinuma M, Nomoto T, Maeda T, Takubo K, Suda T, Sharpe PT, Ohazama A: R-spondins/Lgrs expression in tooth development. *Dev Dyn.* 243(6):844-51, 2014.
- 5) Kaku M, Yamauchi M: Mechano-regulation of collagen biosynthesis in periodontal ligament. *J Prosthodont Res* 58(4):193-207, 2014.
- 6) 秋葉陽介, 江口香里, Rashid MD Mamunur, 加来 賢, 秋葉奈美, 魚島勝美: ヒストン脱アセチル化酵素阻害剤 (HDACI) を用いたエピジェネティクス制御による細胞分化制御を利用した新規骨増成法に関する研究. *日歯医学会誌* 33: 44-48, 2014.
- 7) 秋葉陽介, 魚島勝美: 診療計画立案能力の段階的な習得を目指した臨床歯学演習への展開. *新潟大学学習教育研究* 第2号: 72-84, 2015.
- 8) 長澤麻沙子: 上顎無歯顎に対してインプラントオーバーデンチャーによる咬合と審美性を回復した症例. *日本補綴歯科学会誌* 第7巻第2号: 193-196, 2015.

【その他】

- 1) 早崎治明: 歯科保健の現状とこれからの方向性. 平成26年上越市学校保健会 講習会, 上越市, 平成26年12月4日.
- 2) 松山順子: 歯の萌出と咬合発育に着目した歯科健診について. 平成26年度長野市歯科医師会 学校歯科医研修会, 長野市, 平成27年1月29日.

生体歯科補綴学分野

【論文】

- 1) Blackburn J, Kawasaki K, Porntaveetus T, Kawasaki M, Otsuka-Tanaka Y, Miake Y, Ota MS, Watanabe M, Hishinuma M, Nomoto T, Oommen S, Ghafoor S, Harada F, Nozawa-Inoue K, Maeda T, Peterková R, Lesot H, Inoue J, Akiyama T, Schmidt-Ullrich R, Liu B, Hu Y, Page A, Ramirez Á, Sharpe PT, **Ohazama A**: Excess NF- κ B induces ectopic odontogenesis in embryonic incisor epithelium. *J Dent Res.* Jan 94(1):121-8, 2015.
- 2) Kaku M, Akiba Y, Akiyama K, Akita D, Nishimura M: Cell-based bone regeneration for alveolar ridge augmentation - Cell source, endogenous cell recruitment and immunomodulatory function. *J Prosthodont Res* 59(2):96-112, 2015.
- 3) de Sousa SF, Kawasaki K, Kawasaki M, Volponi AA, Gomez RS, Gomes CC, Sharpe PT, Ohazama A: PKA regulatory subunit expression in tooth development. *Gene Expr Patterns* 15(1):46-51, 2014.

【商業誌】

- 1) 魚島勝美: 歯科金属・材料アレルギー 分担 高永和高 理恵子編 2015. 2. 10. クインテッセンス出版.
- 2) 魚島勝美: 冠橋義歯補綴学テキスト分担 会田雅啓, 魚島勝美他編 2015. 2. 23. 永末書店.
- 3) 魚島勝美: クラウンブリッジ補綴学第5版 分担 矢谷博文, 三浦宏之, 細川隆司, 小川 匠編 2014. 12. 20 医歯薬出版.

【研究費獲得】

- 1) 魚島勝美: 骨質 (コラーゲン) が骨代謝に及ぼす影響とそのメカニズムを探る. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B), 26293408, 2014.
- 2) 加来 賢: 歯根膜の血行性幹細胞供給とその分化過程を追跡するイメージングシステムの開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B), 26293407, 2014.
- 3) 秋葉陽介: 機能性エピジェネティクス低分子化合物を用いた骨増成機構への多面的アプローチ, 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 代表, 26462915, 2014.
- 4) 秋葉奈美: 機能性食品による骨強化作用の生物学的検討~骨粗鬆症患者へのインプラント治療~, 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤 (C), 代表, 25462988, 2014.
- 5) 川崎真依子: エピジェネティクスから探る口唇・口蓋の発生分子機構, 日本学術振興会科学研究費補

助金, 代表, 若手研究(B) 26861545, 2014.

- 6) 長澤麻沙子: 咬合力によるインプラント周囲の骨吸収に関与する分子同定. 日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究(B), 代表, 24792067, 2014.
- 7) JMR Rocavado: 血管の早期新生によって移植細胞の生着を促進する骨増成法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究(B), 26861632, 2014.
- 8) 加来咲子: メカノレセプターとしてのプライマリー・シリアによる歯根膜維持機構. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究(B), 23792213, 2014.
- 9) 青柳裕仁: 歯科用コーンビームCTにおける指標となる骨密度測定用ファントムの開発, 日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究(B), 代表, 25861870, 2014.
- 10) 魚島勝美: 重症多形滲出性紅斑に関する調査研究, 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業, 2014.
- 11) 北見恩美: 自己蛋白の発現コントロールによる安全・簡便・効果的な骨増成法の新規開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 特別研究員奨励費, 13J05404, 2014.
- 12) 加来 賢: ヒト歯根膜細胞を用いた機械的刺激による歯根膜安定化機構の解明. 平成 25 年度新潟大学歯学総合病院臨床研究サポート事業, 2014.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 魚島勝美: International Collaboration in Asian Dental Education, South East Asian Association of Dental Education Annual Meeting, Dean's Forum, マレーシア・クチン, 2014年8月11日.
- 2) 魚島勝美: 大学間連携事業 中間外部評価シンポジウムコーディネーター・座長, 新潟, 2015年2月10日.
- 3) 魚島勝美: 新潟大学における統合型模型実習の実践と有効性に関する教育学的検討, 朝日大学歯学部FD講演会, 岐阜, 2014年10月6日.
- 4) 魚島勝美: 日本補綴歯科学会は歯科医療機器開発にどのように貢献できるかー産学連携の在り方を中心としてー, 第123回日本補綴歯科学会学術大会, 教育講演コーディネーター・座長, 仙台, 2014年5月25日.
- 5) 魚島勝美: 再生医療はどこまで来たか: 原理と臨床展開にむけて, 日本補綴歯科学会第123回学術大会シンポジウムコーディネーター・座長, 仙台, 2014年5月24日.
- 6) 魚島勝美: 臨床基礎教育における新しい潮流ー技能と知識の統合を目指してー「基礎模型実習と臨床実

習を繋ぐ総合模型実習」, 第33回日本歯科医学教育学会シンポジウム, 小倉, 2014年7月4日.

- 7) 加来 賢: 幹細胞を用いた組織再生法の新機軸ー内在性幹細胞の動員ーイブニングセッション. 第123回日本補綴歯科学会学術大会, 仙台, 2014年5月24日, 同学術大会プログラム: 97頁, 2014.

【学会発表】

- 1) Nagasawa M, Cooper L.F, Mendonca D.B.S, Ogino Y, Liang R, Yang S, Mendonca G, Uoshima K: Surface Topography Influences on Osteoclastogenesis Through Bone Marrow Stromal Cells. The 93rd Annual Meeting & Exhibition of the International Association for Dental Research, Boston, March 14, 2015, Program book: 247, 2015.
- 2) Liang R, Cooper L.F, Yang S, Nagasawa M, Mendonca D.B.S, Mendonca G, Ogino Y: Effect of NF- κ B Haploinsufficiency on Bone Repair. The 93rd Annual Meeting & Exhibition of the International Association for Dental Research, Boston, March 14, 2015, Program book: 268, 2015.
- 3) Terajima M, Cabral W.A, Nagasawa M, Watanabe T, Marini J.C, Yamauchi M: Cyclophilin-B Regulates Collagen Cross-linking and Dentinogenesis. The 93rd Annual Meeting & Exhibition of the International Association for Dental Research, Boston, March 13, 2015, Program book: 204, 2015.
- 4) Ida T, Kaku M, Kitami M, JM Rosales, Uoshima K: Effect of differentially crosslinked collagenous matrix on osteoblast and osteoclast activities. 93th General Session & Exhibition of the IADR, Boston, March 14, 2015. Program book:263, 2015.
- 5) Ono K., Yamamura K., Ishikawa Y., Uoshima K., Maeda T., Saito Y., and Matsushita K. : Prospects for Direct Assessment of Problem Solving Competence: Development of Modified Triple Jump in Problem-Based Learning. The 40th Annual Meeting of the Association for Dental Education in Europe, Riga, Latvia. August 28-30, 2014, Program book.
- 6) Uoshima K., Nagasawa M., Ono K., Akiba N., Maeda T.: 10 Years Experience of a Comprehensive Pre-Clinical Practice Course. The 40th Annual Meeting of the Association for Dental Education in Europe, Riga, Latvia, August 28-30, 2014, Program book.
- 7) Ida T, Kaku M, Kitami M, JM Rosales, Uoshima K: Effect of Matrix Collagen Crosslinks on Osteoblast and Osteoclast activities. The 9th Scientific Meeting of the AAO, Sapporo, July 4, 2014. Program and abstracts:50,

2014.

- 8) 北見公平, 加来 賢, 魚島勝美, 齋藤 功: 矯正の歯の移動における歯根膜中のコラーゲン修飾酵素の発現. 第 73 回大会日本矯正歯科学会大会, 幕張, 2014 年 10 月 21 日, 同学術大会プログラム・抄録集:197 頁, 2014.
- 9) 井田貴子, 加来 賢, 北見恩美, 魚島勝美: コラーゲン・クロスリンクの変化が骨芽細胞, 破骨細胞に及ぼす影響. 第 56 回歯科基礎医学学会学術大会・総会, 福岡, 2014 年 9 月 26 日, 同学術大会プログラム・抄録集:141 頁, 2014.
- 10) 秋葉奈美, 小野和宏, 長澤麻沙子, 魚島勝美: 補綴を含む総合的模型実習における学習成果のルーブリックを用いた評価. 平成 26 年度日本補綴歯科学会関越支部総会・学術大会, 2014 年 9 月 23 日, プログラム・抄録集: 10 頁, 2014.
- 11) 天雲太一, 竹内裕尚, 島内英俊, 小野和宏, 吉羽邦彦, 藤井規孝, 石田陽子, 二川浩樹, 津賀一弘, 田地豪, 菅井基行, 佐々木啓一, 前田健康, 魚島勝美: 標準化された病態顎模型を用いた客観的歯科臨床技能評価方法の開発. 第 33 回日本歯科医学教育学会, 小倉, 2014 年 7 月 4 日, 同学術大会プログラム:104 頁, 2014.
- 12) 加来 賢, 北見恩美, JM Rosales, 井田貴子, 秋葉陽介, 魚島勝美: 歯根膜には大腿骨骨髄に由来する幹細胞が存在する. 第 123 回日本補綴歯科学会, 仙台, 2014 年 5 月 24 日, 同学術大会プログラム: 104 頁, 2014.
- 13) 秋葉陽介, 江口香織, 秋葉奈美, 北見恩美, Roca JMR, 加来 賢, 魚島勝美: 多機能性エピジェネティクス化合物による骨増成法への多面的アプローチ. 第 123 回日本補綴歯科学会学術大会, 仙台, 2014 年 5 月 24 日, プログラム・抄録集: 264 頁, 2014.
- 14) 青柳裕仁, 高橋英和, 魚島勝美: ナノファイバーを用いた新規歯冠用硬質レジンの着色性. 平成 26 年度公益社団法人日本補綴歯科学会第 123 回学術大会, 2014 年 5 月 24 日, プログラム・日補綴会誌 6・123 回特別号: 218 頁, 2014.
- 15) 井田貴子, 加来 賢, 北見恩美, JM Rosales, 加来咲子, 魚島勝美: コラーゲン・クロスリンクが骨芽細胞分化, 破骨細胞分化に及ぼす影響. 第 123 回日本補綴歯科学会, 仙台, 2014 年 5 月 24 日, 同学術大会プログラム: 259 頁, 2014.

【研究会発表】

- 1) 秋葉陽介: バルプロ酸 (VPA) による新生骨形成促進作用の検討, 第 3 回あしなが予防医学研究会, 青森, 2014 年 10 月 4 日.

- 2) 秋葉陽介: 幹細胞を用いた組織再生法の新機軸—内在性幹細胞の動員—イブニングセッション. 第123回日本補綴歯科学会学術大会, 仙台, 2014年5月24日, 同学術大会プログラム: 97頁, 2014.

【受賞】

- 1) 加来 賢, 北見恩美, JM Rosales, 井田貴子, 秋葉陽介, 魚島勝美: 歯根膜には大腿骨骨髄に由来する幹細胞が存在する. 第 123 回日本補綴歯科学会 課題口演優秀賞, 2014 年 5 月 24 日.
- 2) Ida T, Kaku M, Kitami M, JM Rosales, Uoshima K: Effect of Matrix Collagen Crosslinks on Osteoblast and Osteoclast activities. The 9th Scientific Meeting of the AAO Best Oral Presentation Award, July 4, 2014.

【その他】

- 1) 加来 賢: ローヤルゼリーによるコラーゲン・クロスリンクを介した骨粗鬆症の予防効果. 第 6 回みつばち研究助成基金成果発表会, 岡山, 2015 年 1 月 6 日.
- 2) 加来 賢: Collagen Crosslink—組織を形作る構造から機能分子として—. 岡山大学大学院インプラント再生補綴学分野セミナー, 岡山, 2014年5月21日.
- 3) Kaku M: Mechanoregulations of Collagen Biosynthesis in Periodontal Ligament. Luncheon Seminar, International Symposium on Mechanobiology 2014, Okayama, May 21, 2014.
- 4) 魚島勝美: 日本補綴歯科学会学術委員会副委員長.
- 5) 魚島勝美: 日本歯科医学教育学会常任理事・教育国際化委員会委員長.
- 6) 江口香里: 第 1 期 官民協働海外留学支援制度～トビタテ! 留学 JAPAN 日本代表プログラム～採択.

顎顔面口腔外科学分野

【著書】

- 1) Kawase T, Okuda K, Nagata M, Yoshie H: The Cell-Multilayered Periosteal Sheet - A Promising Osteogenic and Osteoinductive Grafting Material. Edited by Hibi H, Ueda M; New Trends in Tissue Engineering and Regenerative Medicine - Official Book of the Japanese Society for Regenerative Medicine. INTECH, Rijeka, Croatia. September 18 2014.
- 2) 高木律男: 口腔組織・発生学 (第 2 版) 第 8 章 顎関節 IV 臨床的考察 1. 顎関節の構造と臨床的現象. 脇田稔, 前田健康, 他, 編集. 252-257 頁, 医歯薬出版, 東京, 2015.